

ごみ処理特別委員会

建設候補地が大町市源汲地区に決定される

北アルプス広域連合では、3市村から推薦のあった6か所の候補地について一般廃棄物処理施設建設予定地選定会議を11回開催し、12月21日に最終決定し、当委員会では、同日に次の報告を受けました。

●選定会議の開催経過

平成24年10月 2回開催
現地視察、地域住民からの意見聴取
平成24年11月 4回開催
絞り込みに必要な情報の説明・整理、学識経験者からの助言
振興策の事業主体について平成24年12月 5回開催
絞り込みに必要な情報、地域振興策について
建設予定地の選定協議

●選定会議での検討事項

- (1) 学識経験者の主な意見
防災、自然環境、埋蔵文化財、施設整備
- (2) 概算費用の試算
- (3) 地域振興策

●ごみ処理効率化についての協議

- (1) リサイクル施設の設置
新設するリサイクルセン



老朽化が進む「白馬山麓環境施設組合清掃センター」

ターは、白馬山麓清掃センター用地に建設し、現有施設の解体費用は国の循環型社会形成推進交付金の活用を検討する。

(2) ごみ運搬の効率化と経費削減の検討
市村の収集業務を共同化し、経費削減と運搬車両数の削減及び各市村の財政負担の均衡や住民負担、利便性などの検討。また、指定ごみ袋、分別品目の統一化などの早期検討を確認した。

質問

八方地区への説明は。

問

12月25日を予定しています。

答

25日では遅くないか。

問

すでに電話連絡をしており、連休明けということで遅いとは思いません。

答

予定する稼働開始時期は。

問

環境アクセスメントに1年かかるなどもあり、

答

平成28年の稼働予定と思いません。